



報道発表

TEL : 053-453-6144

【第7報】有機フッ素化合物(PFOS 及び PFOA)に関する
周辺事業場の調査結果について

伊佐地川及び新川において、有機フッ素化合物(PFOS 及び PFOA)が指針値(暫定)^(※1)50ng/L を超過した件について、周辺地域の事業場調査を実施したので結果を報告します。

【結果】

- ・今回の調査では、伊佐地川及び新川において有機フッ素化合物(PFOS 及び PFOA)が、指針値(暫定)を超過した原因の特定に至らなかった。

1. 調査対象事業場へのアンケート

- ・伊佐地川及び新川周辺に立地する環境法令^(※2)の届出事業場を抽出して郵送にてアンケートを発送した(720件)。返戻された255件を除く465件のうち、40%にあたる185件から回答を得た。

＜対象事業場の地区別内訳＞

萩丘地区	521
和地地区	78
伊佐見地区	76
神久呂地区	45
合計	720

＜アンケート内容＞

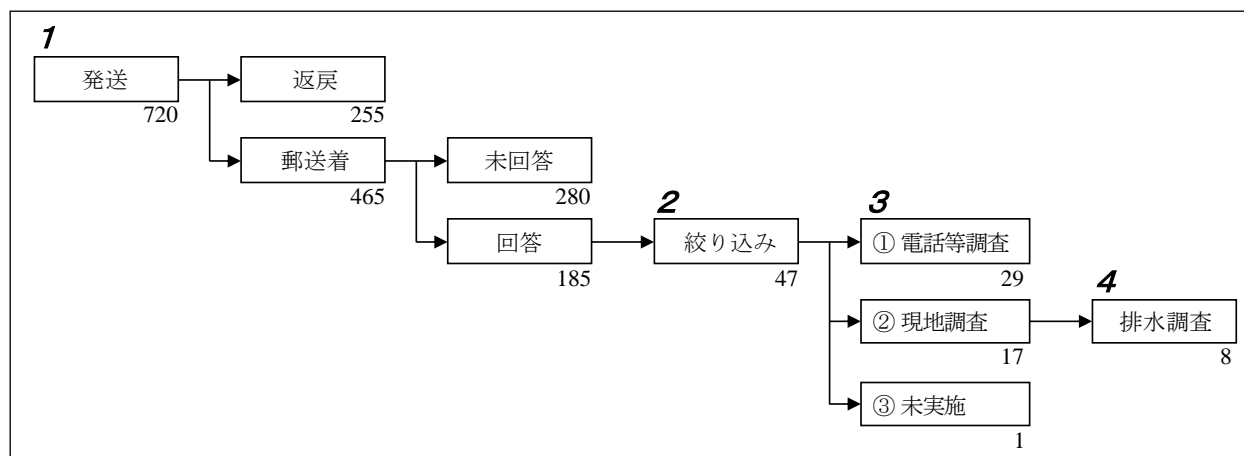
- ・フッ素を含有している薬剤の使用の有無(現在又は過去)
- ・PFOS、PFOAの使用の有無(過去)
- ・PFOS、PFOA代替品の使用の有無(現在)

2. 調査対象事業場の絞り込み

- ・アンケート結果を精査し、追加調査が必要な事業場を抽出した(47件)。

3. 追加調査

- ・抽出した事業場を対象に、29件について書面調査や電話ヒアリング等の追加調査を実施した。その結果、有機フッ素化合物の排出のおそれはないと判断した。
- ・詳細なヒアリングのため、17件について現地調査を行った。その結果、すべての事業場で有機フッ素化合物の使用や薬剤の漏洩等の汚染源となるような情報は確認されなかった。
- ・現地調査を実施した事業場のうち公共用水域へ排水している8件について、排水の水質調査を実施した。結果は「4.排水調査」参照。
- ・1件については早期の調査実施に向けて協議中。



4. 排水調査

- ・8件について排水の水質調査を実施した。その結果、すべての事業場で50ng/L^(※3)を下回った。

地区	事業場件数	水質調査 検体数 ^(※4)	測定結果(件数)
萩丘地区	6	10	不検出(7)、18ng/L(1)、19ng/L(1)、31ng/L(1)
和地地区	2	2	不検出(2)
伊佐見地区	0	0	
神久呂地区	0	0	
合計	8	12	

5. その他

- ・本市消防局の泡消火薬剤の使用履歴について確認した。(別紙のとおり)

- ※1 体重 50kg の人が毎日 2L の水を一生涯にわたり摂取しても健康に対する毒性(有害な影響)がみられないと考えられる値として環境省が定めたもの。
- ※2 大気汚染防止法、水質汚濁防止法、土壤汚染対策法、騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、静岡県生活環境の保全等に関する条例及び静岡県地下水の採取に関する条例
- ※3 公共用水域及び地下水の指針値(暫定)として環境省が定めた値であり、事業場排水について基準値等は設定されていないため参考。
- ※4 1つの事業場に複数の排水がある場合は、それぞれの排水について調査を実施した。